

子どもの広場【後期児童総会】



後期児童総会を行いました。後期は来年度委員会活動が始まる3年生も参加しました。まず、各委員会代表が後期の活動目標と活動計画の説明をし、その後、附小をよりよくするために掃除やあいさつの在り方や方策について話し合いました。高学年から意見が出たのはもちろんですが、初めて参加した3年生からも、どうしたらよいか一生懸命に考えた意見が出てきました。この会で話し合われたことという自覚が感じられた会になりました。

【附属幼稚園交流】



11月7日は、楽しみにしていた2回目の交流でした。今回、交流のお楽しみは2つあります。1つめは木の実を使い、試行錯誤の遊び、完成させたりグループごとや「どんぐりまどあて」などを楽しくでまわらうこと、2つめは一緒に給食を食べることです。いつもは上

にお世話になっている1年生も、この日ばかりはお兄さん、お姉さんになってペアの友だちの手をひき、優しく声をかけたり、アドバイスをしたりしました。楽しい交流会は「実りの秋」の言葉通り、1年生を一回りも二回りも大きく成長させてくれました。

【校内マラソン大会】



今年も校内マラソン大会を行いました。マラソン週間を設け、昨年や体育の時間に測った記録の更新を目標にして走りました。今年の11月後半は、行事や悪天候が多く、十分な練習時間とれませんでした。家庭でも練習を続けた子どももいたようです。大会終了後の感想には、「順位は練習のときと同じだけど、タイムがよくなった。もっとがんばりたい。」とさらなる向上をめざそうとする姿もありました。来年も記録更新を期待したいです。

【福祉体験学習】

4年生は、ちいきの学習で福祉について学習しています。その中で、福祉人材センターに出かけて高齢者擬似体験学習をしました。体験を通して子どもたちは、お年寄りの気持ちに気づくとともに、「これからは、自分のおじいちゃんやおばあちゃんをもっと助けたい」「お年寄りに自分ができることをしたい」「何か考えたり自分のできること、今後とも学習を深めていきたい」と思っています。



【造形遊び】

11月12日、毎年恒例の全校一斉造形遊びを行いました。これは図工の学習の一つで、友だちと共同で活動することで、ダイナミックなものづくりの楽しさを全校で味わおうという活動です。今年は日本文教出版さんが子どもたちの活動の様子を撮影されました。大きな袋をつくらせて校庭を走り回ったり、新聞紙を切ってつないだ長い道路に手作りの車を走らせたりするなど、つくって遊ぶ楽しさも感じられたようです。



< JA 共催鳥取県小中学生書道コンクール >

○半紙の部

銀賞

1年 戸田 結子

< JA 共催交通安全ポスターコンクール >

金賞

3年 石賀 厚志

<ジュニア県展>

○書写の部

鳥取県教育長賞

1年 戸田 結子

奨励賞

3年 矢野 慧

廣本なのは

中島 諒子

4年 足立奈津子

○絵画の部

鳥取県教育長賞

4年 洲崎 悠

<未来に残そう青い海図画コンクール>

審査員特別賞

4年 田中 すず

お話にひたる

すてきな時間

新 康江

十二月五日、下学年合同のお話の会が行われ、子どもたちも前日からとても楽しみにしていました。

まず、おはようお話の会のお母さん方が、「にじいろのさかな」の群読を聞かせてくださいました。お話の最後、キラキラしたうろこが一人ずつの肩に貼られた瞬間、子どもたちから、「いいなあ!」と羨ましくうな声。(きつとみんな自分にも貼ってほしかったのだな。)

次のお話では、ブラックシアターに浮かび上がる幻想的な世界と、お母さん方のやさしい声にみんなうっとりとして、お話の世界に引き込まれ、夢心地で見入っていました。

一か月に一度のおはようお話の会ですが、話を聞いている子どもたちの顔は実に生き生きとしています。「本は心の栄養」という言葉もありますが、お話の世界にひたることで、豊かな想像力や感性も育まれることと思います。また、子どもたちの反応をそばで楽しませてもらっている私にとっても、すてきなひとときとなっています。



